

## 会社は何をこそこそやってるのか？

社員の皆さん、今年も猛暑の中での業務遂行、たいへんお疲れさまです。しかし、健康でないと働けませんから、この時期は特に熱中症には十分注意してください。

ところで8月に入り、職場で管理者が「『新しい人事・賃金制度等』の見直しについて（社員向けリーフレット）」と題した文書を配布しています。JR東海労組員が「私にも下さいよ」と管理者にいうと「〇〇さんは配布対象者のリストに入っていないので・・・」と口を濁すようです。

それはさておき、JR東海ユニオンの第28回大会の様子が情報紙で報じられています。大会では新幹線車掌の「2人乗務化」後の車内の状況が多く語られています。東京駅での座布団対応（汚損座布団交換）、列車内でのキャリーバックや外国人旅客への対応など、列車内で車掌さん、特に車掌長・列車長が全く余裕なくバタバタとは働いている姿が伝わってきます。まあもっとも、これらのことは、職場で実際の不満として、悲痛な声として語られていることですから、特に驚きはしません。

これらの発言の本質は、「人事・賃金制度見直しで乗務手当（特殊勤務手当）が乗務員手当（職務手当）に変わり、月定額になったといえ、こんなに働かされて増額は1,000円ぽっちか！乗れば乗るほど手当は目減りする！」という怒りといえます。実際、人事・賃金制度見直しを妥結した直後のJR東海ユニオンの大会で、職務手当の見直しを求める発言が出ています。

「社員向けリーフレット」は新幹線運輸職場ではまだ配られていないようです。なぜでしょうか？配られている職場でも、掲示も出さず、管理者が社員個々に配っているようです。悪くいえば、堂々と配れない理由でもあるのだろうかと思いたくもなります。

「社員がより一層、意欲や働き甲斐を持てるよう、将来にわたる環境変化も見据え新時代にふさわしいものにブラッシュアップしていく必要」から、会社が人事・賃金制度見直しを労働組合に提案し、最大労組・JR東海ユニオンと妥結した内容です。会社はもっと堂々と、自信を持って、前広に、社員に「見直し内容」を明らかにして、社員の疑問や不安を解消する場を、例えば説明会など開催すればいいのではないのでしょうか。

それとも説明会などを開けない事情が、何かあるのでしょうか？